

報道関係者各位

2026 年 10 月 6 日
ストライプジャパン株式会社

新たなステーブルコイン「OUSD」が Stripe で利用可能に
～手数料なしで米ドルと相互変換、パートナー事業者登録で取引に応じた報酬も～



プログラマブルな金融サービスを構築する Stripe は 2026 年 9 月 30 日 (米国時間)、[Open Standard との提携](#)により、新たなステーブルコイン「Open USD (OUSD)」の提供開始を発表しました。これにより、Stripe を利用する事業者は既存のステーブルコインに加え、新たな選択肢として OUSD を利用できるようになります*¹。

OUSD は、Coinbase や Mastercard、Shopify、Stripe、Visa が共同で設立した独立機関「Open Standard」が発行する米ドル連動型ステーブルコインで、グローバルなビジネスにおける資金移動を目的として設計されています。OUSD を導入し、Open Standard の[パートナーとして登録](#)した事業者は、OUSD の利用・取引実績に応じた報酬を受け取ることができます。

ステーブルコインがより効率的な事業運営を支援できる余地は非常に大きいものの、その大部分は生かされていないのが現状です。送金事業者やグローバルな給与支払いプラットフォームなど、国境を越えた取引が大量に発生する企業にとって、ステーブルコインは理想的な決済手段といえますが、従来のステーブルコインは法定通貨との交換時に変動の激しいミント (発行) およびバーン (焼却) 手数料が発生するため、ステーブルコインの導入にあたり、コスト面での大きな障壁となっていました。OUSD では、事業者は少額の取引手数料のみで、ミントおよびバーン手数料なしで米ドルと OUSD を相互に変換できます。

OUSD は、Stripe のステーブルコイン関連の製品群を通じて、開発者および事業者の皆様にご利用いただけます。Bridge によるオーケストレーションや、Privy の組み込み型ウォレットインフラ、Stripe Issuing によるステーブルコイン対応カードを活用することで、決済およびウォレット、カード決済などの多様なマネーフローを構築できます。

例えば、支出管理プラットフォームを提供する [Ramp](#) は、Open Standard のパートナー事業であり、Stripe を活用して自社のステーブルコインアカウントを稼働させています。これにより Ramp を利用する事業者は、24 時間 365 日いつでも世界中へ送金することができるだけでなく、OUSD を保有することで報酬を得ることができます。

ステーブルコイン向けウォレットを提供する Privy の共同創業者 アンリ・スターン (Henri Stern) は、次のように述べています。

「OUSD は、他のどのステーブルコインよりも優れた経済性を企業に提供します。開発者に対し、Stripe のステーブルコイン関連の製品すべてで OUSD を利用できる選択肢を提供することで、インターネットネイティブな製品を大規模に構築できるよう支援できることを大変嬉しく思います。」

また、企業は [Stripe Treasury](#) で直接 OUSD を保有し、ステーブルコイン対応カードでその残高を支払いに利用できるほか、100 カ国以上の暗号資産ウォレットへ OUSD を送金できます。Stripe Treasury の口座へは、Tempo および Base、Ethereum、Solana 上の暗号資産ウォレットから OUSD で入金できるほか、ACH や SEPA、電信送金を通じて法定通貨での入金にも対応しています。

*1

- 資金決済法の規定により、外国発行のステーブルコインを国内で取り扱うには所定の登録・規制要件を満たす必要があります。
- Stripe Treasury および Stripe Issuing は、現時点で日本国内では未展開。

#####

Stripe について

Stripe は、プログラマブルな金融サービスを構築する企業です。世界の何百万もの企業が Stripe を利用して、オンラインおよび対面での決済や組込型金融、収益モデルのカスタマイズを推進し、より収益性の高いビジネスを築いています。サンフランシスコとダブリンに本社を置く Stripe は、世界の GDP の 1.6% に相当する年間 1.9 兆ドル (約 300 兆円) 以上の決済を処理しています。AI とステーブルコインにフォーカスを置いた事業拡大と研究開発への投資を通じて、Stripe はグローバル経済における最先端技術の普及に貢献しています。

詳しくは <https://stripe.com/jp> をご覧ください。